



# 引野社協だより

(年2回発行 2月1日、7月1日)

発行者 引野校区社協  
責任者 小南 順通  
編集者 野中 悦子  
事務局 引野市民センター内  
別所町9-1  
Tel.631-8055

社協スローガン『人が繋がる支えあいのまち 引野校区』

## 「二季」という言葉をご存知ですか

引野校区社会福祉協議会 会長 小南 順通  
新年、二〇二六(令和八)年  
あけましておめでとございませう。

昨年、流行語大賞トップ10に選出されましたのでご存知の方もおられると思います。「温暖化で、四季の移ろいが崩れ、暑く長い夏と冬のみの二季の国になりつつある」と気候変動研究の第一人者である三重大学の立花先生の書かれた記事を読みました。面白かったので要約を載せま

す。日本は四季の国で四季を愛でる文化が千年以上も根付いている。そのような国で40度超えが当たり前を望む人は皆無だろう。二酸化炭素削減は待ったなしである。温暖化は地球規模の現象だが日本はいわば「スペシャル異常気象」に見舞われている。猛暑や豪雨は世界で一番と言っても過言ではない。世界最大の大洋と大陸のはさまに位置する日本を温暖化が狙い撃ちする理由である。日本周辺の海面水温の上昇率は世界平均の3倍近くに達する。また広大なユーラシア大陸で熱くなった大気が偏西風によって大陸の東端の日本に運ばれてくる。いわゆる日本は「熱い海水」と「熱い大気」の双方から攻められているのだ。これが日本の地理的な宿命であり耐え難い夏の暑さと二季化の要因である。海の温暖化に伴う水蒸気増加は豪雨を激甚化させ、道路、鉄道、建築物を破壊する。豪雨を強化させているのはまぎれもなく温暖化だ。だから脱炭素に後ろ向きだった「人間」が災害増幅に加担したことになる。脱炭素によって元の気候に戻せば機構災害は減る。

2024年熱中症による死亡者が

2000名を超えた。また温暖化は農作物の収穫量や品質の悪化と価格高騰をもたらす。これらの気候災害が表面化した今「経済優先と脱炭素優先の二者択一の問題」が間違いないことでは明らかだ。異常気象は日本の国力を奪い、私たちの生活を大きく左右する。このまま何も手を打たなければ異常気象は通常気象になってしまふ。「日本だけが温暖化対策をしても効果(びぼうさく)にしかならない」といった声をよく聞く。しかし異常気象への意識改革を世界に向けて迫る意味でも日本が脱炭素分野で世界のトップランナーとなり、他国をけん引するべきだ。なぜなら異常気象の影響を最も受けるのは日本なのだから。温暖化は「沈みゆく島国の他人事」ではなく「宿命を背負った日本のわがこと」このままではいずれ日本は「世界で最も美しい日本に戻そうではないか。四季が美しい日本に戻そうではないか。だからそれに向けた行動変容が求められる。強く豊かで美しい国、日本に戻すために。(以上) 立花先生の言われる気象の分野でも、地球のプレート構造の分野でも日本は災害が多く起こる構造的な問題を多く抱えています。だからこそ、避けられない問題はありますが、問題をなるべく小さくする方向を考えなくてはならないと思います。引野は災害の少ない安心・安全な地域と思えますがどんな小さなことでも我々が協力できる事柄は協力していきたいと思えます。

## 散歩クラブだより

毎日朝九時前になると市民センター裏庭は笑顔の高齢者たちで賑やかになってきます。一日を健康に過ごしたい、一年を健康に過ごしたいと願う年長者たちの笑顔で一杯になります。ラジオ体操第一、第二に続いて最後はスクワット一〇回ですが、更に参加者数を教えながらのスクワットを追加します。参加者が二五名の時は二五回追加です。体操が終わると割り子川、鉄王の区会内を日替わり四コースの散歩です。市民センターに帰着したら水分補給をしながらのおしゃべりタイムです。笑いの絶えない楽しい時間が過ぎていきます。毎月、地域の「ごみ拾いや市民センター花壇の手入れなどの美化活動も継続しています。年末には市民センターのキッズ講座で「焼きいも大会」や「ミニ門松づくり」を支援して大変喜ばれています。毎月の大人の遠足も楽しんでいきます。年間の計画に沿って実施しています。昨年の夏以降では九月の皿倉山夜景観賞ウォーク、一〇月には遠賀川河畔のコスモス祭り、一〇月には秋月城址と杷木稻荷神社、一二月には引野バスツアーで糸島雷山観音へ、一二月は一の宮神社で年納めをしました。新年になつて新春引野三社まわりウォークを楽しみました。昨年一月から二月までの年間参加者は延べ五二一人でした。どなたでも、いつからでも、参加自由です。月々金曜日八時五十分から。お問い合わせは市民センターまで。



散歩コースにて



糸島雷山観音にて

## 三世交代ふれあい餅つき

昨年一月二三日(日)社協主催の餅つき大会が開催され、小学生、中学生を含む子ども達と年長者を含む大人たちの賑やかな三世交代の交流ふれあい餅つきが出来ました。地域や子供会の役員を含めて総勢二〇〇名を超える楽しい餅つき大会となりました。協力してくれた四〇名の中学生たちは餅つきのつき方のコツを教わるのと若い力を大いに発揮し、地域役員たちは大変助けられました。子供会の子ども達も餅つきの貴重な体験が出来て喜んでいました。

子ども達の最大の楽しみであるぜんざいコーナーではぜんざい、おろし餅、きな粉餅が途切れなく振舞われ、美味しそうに食べる子ども達は満足顔いっぱいでした。グラウンドでは体育委員会主催のスポーツフェスタも行われていて輪投げ等四競技も楽しむ事が出来ました。



ぜんざいコーナー



餅つき体験

## 引野放課後児童クラブ 一新年度入所希望者募集一

引野放課後児童クラブでは令和8年度入所希望者の募集を始めます。募集業務の日程は下記のとおりです。

1. 新1年生対象  
引野小学校主催の新1年生保護者説明会(1月28日(水))にて募集内容を説明します。応募締め切り:2月5日(木)
2. 在校生対象  
新年度入所希望者募集は「現クラブ在在者継続希望調査(1月28日)」と同時募集とします。応募締め切り:2月5日(木)  
在校児童で新たに児童クラブ入所希望者は上記締め切り日までに「児童クラブ」に申し込みください。

なお、①締め切り日厳守。②児童の要支援の有無の明記。を特にお願います  
(問合せ:引野放課後児童クラブ ☎233-1400)

引野校区社協管内高齢化状況

令和7年9月30日現在

Table with 9 columns: 地域, 世帯数, 人口(人), 年少(14歳以下)人口, 年少(14歳以下)比率%, 生産年齢(15~64歳)人口, 生産年齢(15~64歳)比率%, 老年(65歳以上)人口, 老年(65歳以上)比率%. Rows include 引野自治区会地域, 鉄王1丁目, 校区管内合計, 八幡西区, 北九州市.

【引野校区地域高齢化(65歳以上)推移】

Table with 13 columns: 地域, 令和2年人口, 令和2年比率%, 令和3年人口, 令和3年比率%, 令和4年人口, 令和4年比率%, 令和5年人口, 令和5年比率%, 令和6年人口, 令和6年比率%, 令和7年人口, 令和7年比率%. Rows include 引野自治区会, 鉄王1丁目, 校区管内合計.

高齢者サロン「引野お達者クラ

益々楽しいサロンへどうぞ

益々楽しい高齢者サロンの継続中です。昨年十二月十六日には市民センターサロンでクリスマス会を開催しました。参加者も四十名と大賑わいでした。「ミセスシヨコラ3人組」の演奏を中心にトークや歌で楽し

みました。ピアノ、ドラム、ボーカルの3人組の東京キッドから男はつらいよの九曲は参加者たちにも馴染みの曲でしたが最後にはアルコールも出て会場が一体となって楽しみました。予定の時間は、あつと言う間に過ぎてお腹も空いたところで昼食会へ移りました。



クリスマス会



区民館サロン

もう一つの区民館サロンもコーヒータイムを挟んでゆっくりと楽しめるサロンです。昨春秋には九月八日と十一月十七日に開催されました。福祉協力員さんたちがお茶とコーヒーを準備して待っていてくれます。一服したら十時から囲碁ボールゲームで楽しみます。ごく易しいゲームですから心配ご無用。ですが打ったボール(玉)の行方は思い通りには行きません。ですから一打一打に大歓声が上がって楽しいサロンとなります。ゲームを楽しんだ後は約三十分の健康講話とストレッチで身体を揉みほぐして十一時三十分には終了となります。二月以降も二月十六日、三月十六日に開催

引野放課後児童クラブ

昨年の夏は暑い日が続きました。体育館での夏祭り、エレクトーン演奏や人形劇など市民センターで鑑賞会を行いました。ヤクルト講座では、うんちの話に大いに盛り上がり、夏休みは終わりました。お十月には遠足で小倉城に行きました。お

城の見学の後、ちょうどお祭りで大鼓の演奏や昔遊びで楽しい時間を過ごしました。十二月のクリスマス会では運動会で踊ったダンスを披露してくれました。みんな上手でした。

また次の日、雪印メグミルクさんに来ていただき牛乳の話とバター作りをしました。クラッカーにバターをつけて美味しく食べました。



小倉城にて



クリスマス会

ご寄付ありがとうございました。

引野校区社会福祉協議会へ

福祉活動に役立ててほしいと寄付が寄せられました。厚く御礼申し上げます。地域福祉活動推進のため貴重な財源として有意義に使用させて頂きます。(令和7年8月以降分・敬称略)

香典返し寄付

喪主

故人名

- ◇渡辺 京子 渡辺 ヌイ子(別所町)
◇野中 芳春 野中 ハル子(別所町)
◇竹下 清治 竹下 八重子(引野一)

故人のご冥福をお祈りいたします。

高齢者社会への対応

高齢化が進む我が国の六五歳以上の高齢者の中で認知症の人は五人に一人の割合で七三〇万人に達すると言われています。認知症による徘徊行方不明者も年間一万人を超えています。

引野校区社協では平成二十二年三月に認知症サポーター養成講座を開催し、これを契機に関連施設「お里の家」きらめき養福寺さんと連携して認知症徘徊者の搜索模擬訓練を開始しました。昨年一月九日(日)に七回目の搜索模擬訓練を実施しました。今回は昨年構築した「引野SOSネットワーク」(スマホを活用した最新の搜索ネット)を活用して搜索模擬訓練を実施しました。施設からの徘徊行方不明者情報を即座にサポーター(福祉協力員や町会長)が受信し地域協力員も一緒に校区内を搜索し、ごく短時間で発見に至りました。

今後とも訓練の輪を広げていきたくと思っています。打ち合わせ中



雨の中搜索中

引野SOSネットワーク 搜索模擬訓練